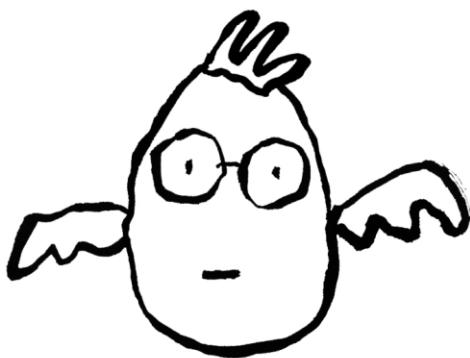


# 薬害アーカイブズ研究班 事業報告



本郷 正武 Masatake HONGO  
桃山学院大学社会学部社会学科 准教授  
[mhongo@andrew.ac.jp](mailto:mhongo@andrew.ac.jp)

# 本調査事業班の概要

- 補助金 厚生労働行政推進調査事業費
- 課題名 薬害資料データ・アーカイブズの基盤構築・活用に関する実践的研究(25KC2015)
- 研究期間 2025年4月～2028年3月
- 研究代表者 本郷 正武(桃山学院大学)
- 研究分担者 佐藤 哲彦(関西学院大学)  
矢崎 千華(関東学院大学)

# 本調査事業の柱

- **薬害研究チーム** (研究協力者: 堀内暢行)
  - ・薬害資料のアーカイブ化
  - ・既存の薬害関連文献のデータベース化
- **映像チーム**
  - ・映像資料の映像社会学的検討
  - ・肖像写真の撮影と制作
- **薬害教育チーム** (研究協力者: 景山千愛)
  - ・ホームページの管理・運営

# 薬害研究チーム

- 薬害資料のアーカイブ化
  - ・国際基準での薬害資料の目録化
  - ・目録公開に向けたガイドラインの作成
- 成果発信
  - ・本郷 : 世界社会学会フォーラム(7月、ラバト(モロッコ))
  - ・堀内 : 世界アーカイブズ学会(11月、バルセロナ(スペイン))

# 映像チーム

## ■ 映像資料の検討

- ・当事者主体の制作によるデジタルストーリーテリングの限界と批判

- ・当事者との協働による映像制作へ

## ■ 成果発信

- ・佐藤 : 証言映像の分析に関する書籍

(今春発行予定)

- : 世界社会学会フォーラム(7月、ラバト(モロッコ))

# 薬害教育チーム

- ホームページの管理・運営
  - ・研究班ホームページ(薬害ポータルサイト)  
の英訳化
- シンポジウム企画
  - ・「歴史と現在をつなぐ—薬害エイズから  
学ぶ市民社会と学問」(関東学院大学  
社会学部創立10周年記念シンポジウム)  
の企画(→別紙資料)

# 本事業のこれからの課題

- (一社)薬害研究資料館との連携
  - ・昭和100年事業での薬害展示への協力  
　＝パイロット展示の位置づけ
  - ・常設展示および**移動展示**による『グラフ  
　イック・ドキュメントスモン』資料展示へ
- 資料展示のコンセプト設定
  - ・さらなる薬害資料のアーカイブ化
  - ・資料の精査と公開ガイドライン設定